

渋谷でマナブ

放送大学
東京渋谷学習センター

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-10-7
五島育英会ビル1階
TEL: 03-5428-3011
<https://www.sc.uj.ac.jp/center/shibuya>



No. 18 発行2023年10月



目次

巻頭言 「まなびーの板修行」	東京渋谷学習センター所長 山室恭子2
コラム 「人間拡張の原理-ネット社会が広げる無限の可能性」	客員教授 三浦俊彦3
「新一万円札の顔と簿記・会計」	客員准教授 増子敦仁4
2023年度 放送大学連携講座 講演会開催報告	5.6
2023年度第1学期 入学者の集い・新規入学者ガイダンス・学位記授与式	7



Information

以下について、東京渋谷学習センターのwebサイトよりご確認ください。

- 東京渋谷学習センタースケジュール
- 証明書・学生証の発行
- 単位認定試験について
- 2023年度第2学期面接授業・ライブWeb授業科目一覧
- 2023年度第2学期面接授業・ライブWeb授業追加登録方法

まなびーの板修行

東京渋谷学習センター 所長 山室 恭子



これは鳩殿。ご健勝の体じゃな。で、おっきな板を何枚も背負って、どちらへ？

やっほー、お侍さん



これね、今、まなびーが働いている「ずむ寺子屋ⁱ」の小道具なんだ。



舶来の学問が学べると評判になってるあれじゃな。ちよいと見せてもらって良いかの？



ど〜ぞど〜ぞ (よっこいしょ)



ここにAあり

X	Y	X-Y
810.0000000000000000000000	6561.000000000000000000	791.539911564485000000
426.0000000000000000000000	1849.000000000000000000	371.029911564485000000
105.7479285137700000000000	4113.500000000000000000	175.382991156448500000
133.8611796479790000000000	10797.24117747649000000000	78.45181629195640000000
58.403440029293000000000000	10797.24117747649000000000	-11.26984411778400000000
35.388328167473000000000000	10797.24117747649000000000	8.7084838493188000000000
29.101281582051800000000000	10797.24117747649000000000	10.2086159683999000000000
26.467549481173000000000000	10797.24117747649000000000	10.0079181184181600000000
26.460498811800000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000
26.460498811550000000000000	10797.24117747649000000000	10.0000000000000000000000



なんじゃあ、えらい細かい罫線と、これは舶来の数字か？

そうそう。これ、「えくせるⁱⁱ」っていう未来の道具で、かの「にゅうとん」大先生の算法を解いてみたの。まなびーは鳩だから810の平方根ⁱⁱⁱを求める、っていうお題を設定してみたよ。



そろばんが進化すると、こうなるんか。

0. ヘンリーの時計と櫛のお話を利得表にしてみたよ^{iv}

	妻	
夫	行動しない ちよっ。クリスマスなのに、なんもない。	行動する 妻、かっこいい夫を眺めてめっちゃはっぴー。 夫、ちょっと悪いなと思いつつ、まあまあはっぴー。
行動しない	夫、美しい妻を眺めてめっちゃはっぴー。 妻、ちょっと悪いなと思いつつ、まあまあはっぴー。	夫、髪はまた櫛びるし、時計は買から請け出せばいいから、ま、いっか。
行動する		

ナッシュ均衡は左下と右上 (行動する, 行動しない) (行動しない, 行動する) です。



で、こっちは顔がいっぱいだな。

これはね、「げえむ」理論の小道具なの。仲の良い夫婦がいてね。とても貧乏だったけど年に1度の「くりすます」っていう祝祭にはお互いに贈り物をしたいって思って。夫はたいせつな懐中時計を貰入れてして妻の美しい髪を飾る櫛を買ひ、妻は髪を売って夫の懐中時計を飾る櫛を買ったのⁱⁱⁱ。



なんとも間の悪い話じゃのう。

でしょ。で、どんな選択をすれば、お互いがもっと幸せになれるか、利得表^{iv}ってやって、こんなふうの場合分けして表現すると分かりやすくなるんだよ。



鳩殿、板にて修行中というわけじゃな。

うん！まあ、板はなくてもいいんだけどね (苦笑)



i . 東京渋谷学習センターで開設しているZoomを用いたライブWeb授業のこと
 ii . リングで有名なアイザック・ニュートンは、ある数の平方根を求める画期的な算法を考案したことも知られる。まなびーが算出した810の平方根は28.4604...
 iii . O. Henryの短編小説「賢者の贈り物」
 iv . まなびーは夫が妻のどちらか片方だけが贈り物をしたケースを最善と考えているようだが、男女の機微に疎い鳩風情のことなので、信用はならない。

人間拡張の原理

— ネット社会が広げる無限の可能性 —

三浦俊彦

客員教授（中央大学商学部教授）



20世紀メディア論の大家マクルーハンによると、技術やメディアは、人間の身体の拡張である。手の代わりに石斧、足の代わりに車輪（自転車・自動車）、耳の代わりにラジオ、目の代わりにテレビが生まれることによって、人間は自身の身体の限界を超えて、その能力を拡張してきた。

インターネットの出現は、目と耳をさらに拡張した。受動的なテレビなどのメディアと異なり、能動的な性格から、自宅のPCやスマホを操作するだけで、好きな時に身体能力を拡張し、世界の人々とつながり、世界のニュースがわかり、世界の商品が買えるようになり、人間能力の時間的・空間的拡張を行った。

時間面では、テレビは放送時間に従わねばならず、ショッピングも店舗の営業時間に拘束されていたのに対し、インターネットでは、好きな時に好きなサイトを閲覧でき、深夜・早朝好きな時に注文できる。放送時間・営業時間に制約されていた消費者行動が、ネットによって24時間可能となり、能力の時間的拡張を行った。空間面では、ネット初期には、身体能力を拡張できる地点はPCのある自宅や職場であったが、携帯・スマホからのネット接続によって、身体拡張の地点を広げ、能力の空間的拡張も行った。

さらに、インターネットは口の能力も拡張した。ネット社会の最大の特徴の一つは、消費者自身がメディアを持った点である。マスメディアと言われるように、従来メディアは大企業のものであったが、インターネットによって、消費者自身もメディアを持てる

ようになり、ブログサイトに始まり、近年のユーチューバーやインスタグラマーなどのように、消費者も企業と同等に発言する口を持った。マクルーハンが、声帯（口）の拡張としてメガホンなどをあげていたが、YouTubeなどのネットメディアの獲得は、単なる音量の拡張を超え、時間的・空間的に口の拡張を行った。いまや消費者は、好きな時に、好きなことを、好きな場所から、世界に発信する。

そしてChatGPTなどの生成AIの登場である。企業では資料の作成や整理、情報収集（質問への回答）などに使われ出しているし、高校などではGPTによる「壁打ち」と言われるように、学生が課題を提出し、それにGPTがコメントをつけ、それを学生がまた修正し・・・、というまさにテニスの壁打ちの練習を彷彿とさせる。ChatGPTという新たな技術が秘書や家庭教師のような役割を果たしているのだが、「脳」の拡張ということもできる。

画像系の生成AIでは、菓子メーカーのブランド担当者が新製品のキャラクターをネコにしようとして、どんなタイプのネコにするか悩んでいるとき、生成AIに頼めば、かわいいタイプ、強そうなタイプ等々、いくらでも生成してくれる。マンガ家をめざす若者がキャラクター・デザインに悩んでいるなら、候補キャラクターをいくらでも出してその若者の感性を刺激する。

生成AIは、人間の左脳（論理的脳）も右脳（感性的脳）も拡張してくれそうである（文章系も画像系もLINEにいたので、友だち追加すれば簡単に使える）。メタバースを含め、ネット社会には無限の可能性がある。

新 一万円札の顔と簿記・会計



増子敦仁

客員准教授（東洋大学准教授）

慶應義塾大学を創設した福澤諭吉と500社以上の会社の創設や経営に関わり日本資本主義の父と言われる渋沢栄一。この二人にはどのような共通点があるでしょうか。ともに幕末から明治時代にかけて大活躍した人物で、現在の一万円札の図柄には福澤諭吉の肖像画が用いられていますが、2024年の7月から発行される新一万円札の図柄には渋沢栄一が登場することになっています。実は、二人とも簿記・会計の分野でも大きな足跡を残しています。

まず福澤といえますと、日常の生活や仕事に役立つ実用的・実践的な「実学」を推奨した『学問のすゝめ』がたいへん有名ですが、日本で最初の複式簿記の書籍である『帳合之法』（ちょうあいのほう）も1873(明治6)年に著しています。つまり、実学の際たるものが簿記・会計ということになります。複式簿記は中世のイタリアの商人たちによって考案され、取引を二面的に捉えることによって「原因」と「結果」を記録し、フローとストックの動きを明らかにすることができる特徴を有しており、以後ヨーロッパ各国に広まってきましたが、江戸時代まで日本ではいわゆる「大福帳」といわれる帳簿自体はありましたものの、一部の取引しか記録されないなど複式簿記に比べると必ずしも十分ではありませんでした。そこで福澤はアメリカの簿記書を基にして複式簿記を紹介し、商工業発展の基礎として複式簿記の普及に向けた啓発を行いました。

これに対して渋沢も複式簿記の有用性に早くから気づき、大蔵省の役人として明治政府に仕えていた

ころから欧米の複式簿記システムを国家の会計に導入しようとしていました。しかし、やがて渋沢自身が政府を辞めて民間人として活動したために、長らく日本の公会計は現金主義・単式簿記に基づいており、近年になってようやく発生主義・複式簿記が用いられるようになっていきます。一方で民間企業では複式簿記による企業会計が浸透し、業種・業態・規模を問わずほとんどの企業で複式簿記による記帳が行われるようになっていきます。

また、渋沢は国立銀行条例を制定するに際し、イギリスの銀行家アラン・シャンドという人物をお雇い外国人として招聘し、国立銀行の経営に必要な事柄を講習させましたが、その講義をまとめたのが『銀行簿記精法』で『帳合之法』と同じく明治6年に出版されています。

さらに『青淵百話』のなかで渋沢は「会社銀行員の必要的資格」について語っており、そこでは学問技術上の資格と精神上的資格とに分けて論じたうえで前者の第一に「簿記に熟練すること」を挙げています。「簿記は計算の基礎でもあり、又事務中にも重要なものゝ一つを占めて居るのであるから、事務家たらんと欲する者は必ず熟練して置かねばならぬ」と説いています。現代でも簿記・会計は、英語とコンピュータと並びビジネスパーソン「三種の神器」と言われています。放送大学では簿記・会計に関する科目がいくつも用意されていますのでぜひとも履修されることをお勧めいたします。

2023年度 放送大学連携講座 開催予定

目黒区教育委員会連携講座

オンライン開催（モニター会場有）

医療者がアタマの中で進めていること ～臨床推論・アセスメント～



【講師】放送大学教授 山内 豊明 先生

【日時】令和5年10月29日(日)

14:00 – 16:00

【会場】オンライン（Zoom）

中目黒住区センター 第5・6会議室（モニター会場）

【定員】オンライン 60名、モニター会場 60名

【対象】目黒区内在住・在勤・在学の方、放送大学関係者

【費用】無料

【申込方法】電話・ハガキ・FAX・電子申請（目黒区ホームページから）
で以下の必要事項をお知らせください。

【必要事項】①講座名 ②郵便番号・住所 ③氏名（フリガナ）④電話・FAX
⑤参加希望方法

【締め切り】令和5年10月16日（月）必着

【宛先・お問合せ先】

〒153-8573 目黒区上目黒2-19-15

目黒区教育委員会事務局 生涯学習課 生涯学習係

TEL 03-5722-9314

FAX 03-3715-3099

<https://www.shinsei.elg-front.jp/>

【山内先生からの講演案内】

体調を崩した場合、「〇〇病」というような診断名が付けられると思います。

診断を確定するためには、まずは何が起きているのかについて推理・推論をしており、その進め方について、医療者のアタマの中を覗いていきたいと思っています。



2023年度 放送大学連携講座 開催しました

品川区共催

放送大学パートナーシップ講座

第1回「家康の決断 @関ヶ原」

【講師】放送大学東京渋谷学習センター所長 山室恭子 先生

【日時】令和5年6月11日(土) 14:00-16:00

第2回「九州で発見された3本の有銘鉄刀」

【講師】放送大学客員教授 坂上康俊 先生

【日時】令和5年6月17日(土) 14:00-16:00

オンライン配信 (Zoom)

第1回は、「津軽屏風」から紐解く関ヶ原合戦について解説いただきました。古文書や手紙、屏風から伝わる意図や戦略など、クイズを交えながら資料を読み解く面白さを実感できた、大変好評でした。(参加者46名)

第2回は、九州で出土された銘文を持つ刀について、日本古代国家の形成過程とのかかわりでそれぞれの有銘鉄刀が持つ意義について解説いただきました。歴史を垣間見る・想像する楽しさに満足した、やはり刀は権力の象徴だ、難しかったが満足したという意見が寄せられました。(参加者39名)

共催 放送大学/品川区

2023年度 《オンライン開催》
放送大学パートナーシップ講座

第1回6月10日(土) 午後2時~4時
『家康の決断 @関ヶ原』
講師：山室 恭子 氏 (放送大学東京渋谷学習センター所長 東京工業大学名誉教授)



満天姫(まてひめ)をご存知でしょうか。家康の姪で遠く津軽家に嫁ぎました。その姫の願いにより伝えられた「津軽屏風」を手がかりに、実は戦に弱かった家康が関ヶ原合戦をどうとらえていたかを読み解きます。

第2回6月17日(土) 午後2時~4時
『九州で発見された3本の有銘鉄刀』
講師：坂上 康俊 氏 (放送大学福岡学習センター客員教授、九州大学名誉教授)



九州で出土した銘文を持つ刀として、以前は熊本県和水町の江田船山古墳から出土した銀象嵌大刀のみが知られていたが、21世紀に入って福岡市の元岡遺跡から庚寅年銘金象嵌大刀が出土、そして最近熊本市で「甲子年五月中」と象嵌された大刀が出土した。日本古代国家の形成過程とのかかわりでそれぞれの有銘鉄刀が持つ意義について考えてみたい。

【対象・定員】 16歳以上の方、100名(抽選) 【費用】 無料
【締切・申込方法】 5月26日(金)までに、品川区のホームページ(<https://www.city.shinagawa.tokyo.jp/>)またはQRコードを読み取り、電子申請にてお申込みください。※いただいた個人情報、本講座のみに使用します。

【宛先・問い合わせ先】 〒140-8715 品川区広町2-1-36
品川区文化観光課生涯学習係
TEL 03-5742-6837



※注意事項
●Zoomのインストールや操作に関するお問い合わせ、サポートは行いません。
●自宅の通信環境が整っていることを確認ください。Wi-Fi4等のモバイル通信(デザリングを含む)、有線LAN等、なるべく有線接続での受講が望ましいです。
●Zoomに接続していたがZoomの通信量、プロバイダ料金などは各自の責任となります。なお、Zoomに1時間接続すること、約100MB

2023年度 広報課共催講演会 開催しました

広報課共催

「ウクライナ危機と中東情勢」

【講師】放送大学名誉教授 高橋和夫 先生

【日時】令和5年7月29日(土) 14:00-15:30

【会場】AP渋谷道玄坂(対面)

オンライン配信 (YouTube)



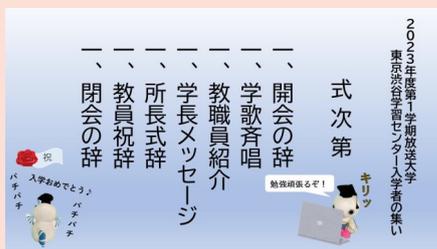
ウクライナ危機をめぐる最新の国際情勢について解説いただきました。中東・東ヨーロッパロシア国境など複雑で絡み合った問題を考える糸口を示していただき自分事として考え続けていこうと思った、ロシアの大義・NATOの懸念がよくわかる内容だった、世界の力関係がどのようにできたのか分かりやすく難しくも理解できた、一般メディアではあまり取り上げられていない視点や歴史観にもづくお話はさすが高橋先生だと思った、オンライン講演会は現地参加できない者としては大変ありがたい、との意見が寄せられるなど、大変好評でした。(会場参加者115名、オンライン参加者854名)



2023年度第1学期 入学者の集い・ 新規入学者ガイダンス オンラインで開催しました

2023年4月9日（日）13時半より、2023年度第1学期「入学者の集い」をオンライン（Zoom）で挙行了たしました。大学歌斉唱に始まり、客員教員紹介、学長メッセージ、山室所長による式辞に続き、稲葉信子客員教員より学ぶ機会を得られることの尊さについてアフガニスタンの事例を基にお話しいただき、ご祝辞をいただきました。また、「入学者の集い」終了後は、「新規入学者ガイダンス」を開催し、学習を進めるうえでの各種手続き、留意すべき事項やセンター利用について説明し、事前にいただいた質問に回答しました。

オンライン参加者は167名となり、実施後のアンケートでは、「丁寧な説明で学習やシステムの不安が解消された」「授業開始前にしてもらえるととっても良いと思う」「諸先生方からお祝いの言葉を貰い気が引き締まった」など、様々なご意見をいただきました。



2023年度第1学期 学位記授与式 対面とオンライン（Zoom）で開催しました



2023年9月24日（日）13時半より、2023年度第1学期「学位記授与式」を対面とオンライン（Zoom）で執行了いました。2023年度第1学期卒業生・修了生150名の内、会場となったAP渋谷道玄坂には、44名の卒業生が参加し、オンラインでは14名がライブ配信を視聴していました。式典では、大学歌斉唱に始まり、学長メッセージ、客員教員紹介、コース毎の卒業証書・学位記授与、山室所長による式辞に続き、長谷川まゆ帆客員教員よりご祝辞をいただきました。

式典終了後には、希望者による写真撮影が行われ、集合写真だけではなく、学生同士やお花やまなびーぬいぐるみと記念写真を撮るなど、4年ぶりとなった対面での実施は、盛況のうちに終わることができました。



令和5年度第1学期放送大学東京渋谷学習センター学位記授与式

